

**TEXNAI**

**Texnai Stereo 3D Tool Box**

# **JPS Builder**

**Version. 1.0.5.1**

---

**ユーザーズマニュアル**

**Texnai, Inc.**

**【ご注意】**

- ・本マニュアルは、2003年12月の製品仕様に基づいて作成されたものです。
- ・本マニュアルの内容の一部、または全部を無断で複写や転写することは禁止されております。
- ・本マニュアルの内容については、将来、予告なしで変更されることがあります。
- ・本製品を海外で使用する場合の一切の責任は負いかねます。
- ・本マニュアルの内容については万全を期しておりますが、万一不明な点、誤りなど、お気づきの点等がございましたら、弊社宛ご連絡くださるようお願いいたします。
- ・前項に関わらず運用した結果の影響については責任を負いかねますのでご了承ください。

**【主な商標】**

- ・Microsoft、Windows 2000、Windows XPは米国Microsoft Corporation.の登録商標です。
- ・Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- ・その他一般に会社名、製品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

なお、本書に引用している他の各社名、商標、登録商標を尊重する意向を表明します。

## 目次

---

はじめに	1
パッケージ内容の確認	1
ユーザー登録のお願い	3
製品に関するお問い合わせ先	3
<b>第1章 JPS Builderの概要</b>	<b>4</b>
1-1 : JPS Builderとは	4
1-2 : JPS Builderの主な機能	4
<b>第2章 JPS Builderの動作環境</b>	<b>5</b>
2-1 : 推奨動作環境	5
2-2 : 対応ステレオ表示ディスプレイ装置	5
<b>第3章 JPS Builderのインストール方法</b>	<b>6</b>
3-1 : JPS Builderのセットアップ	6
<b>第4章 はじめてお使いの際に</b>	<b>10</b>
4-1 : JPS Builderの起動とパーソナライズ	10
4-2 : JPS Builderの環境設定	11
4-3 : 画像テンプレート	11
4-4 : 画像データの読み込み	12
4-5 : セパレート表示とステレオ表示の切り替え	14
4-6 : フルスクリーン表示とコンテキストメニューの表示	15
4-7 : 画像データの移動・拡大・縮小・回転	16
4-8 : 画像データの保存	18
<b>第5章 JPS Builderの機能一覧</b>	<b>19</b>
5-1 : 左画像を開く	19
5-2 : 右画像を開く	19
5-3 : JPS画像として保存	19
5-4 : バインドされた画像として保存	20
5-5 : 左右画像データの置き換え	20
5-6 : 環境設定	20
5-7 : アプリケーションの終了	20
5-8 : ステレオ	21
5-9 : アナグリフ (ピュアカラー)	21
5-10 : アナグリフ (ミックスカラー)	21
5-11 : アナグリフ (グレー)	21
5-12 : 垂直インターリーブ	22
5-13 : シャープ Gシフト	22
5-14 : 水平インターリーブ	22
5-15 : 自動トリミング	22
5-16 : フルスクリーン	23
5-17 : ノイズリダクション	23
5-18 : 選択画像を上に移動	23
5-19 : 選択画像を下に移動	23

---

---

5-20 : 選択画像を左に移動	24
5-21 : 選択画像を右に移動	24
5-22 : 選択画像の拡大	24
5-23 : 選択画像の縮小	24
5-24 : 選択画像の回転 (時計回り)	25
5-25 : 選択画像の回転 (反時計回り)	25
5-26 : 左右画像の連動	25
5-27 : リセットポジション	25
5-28 : JPSBuilderのバージョン情報	26
5-29 : ユーザー登録	26
付録	27
A-1 : モニターの表示解像度によるインターリーブ画像のサイズ制限	27
A-2 : JPS Builderのショートカットキー一覧	27

---

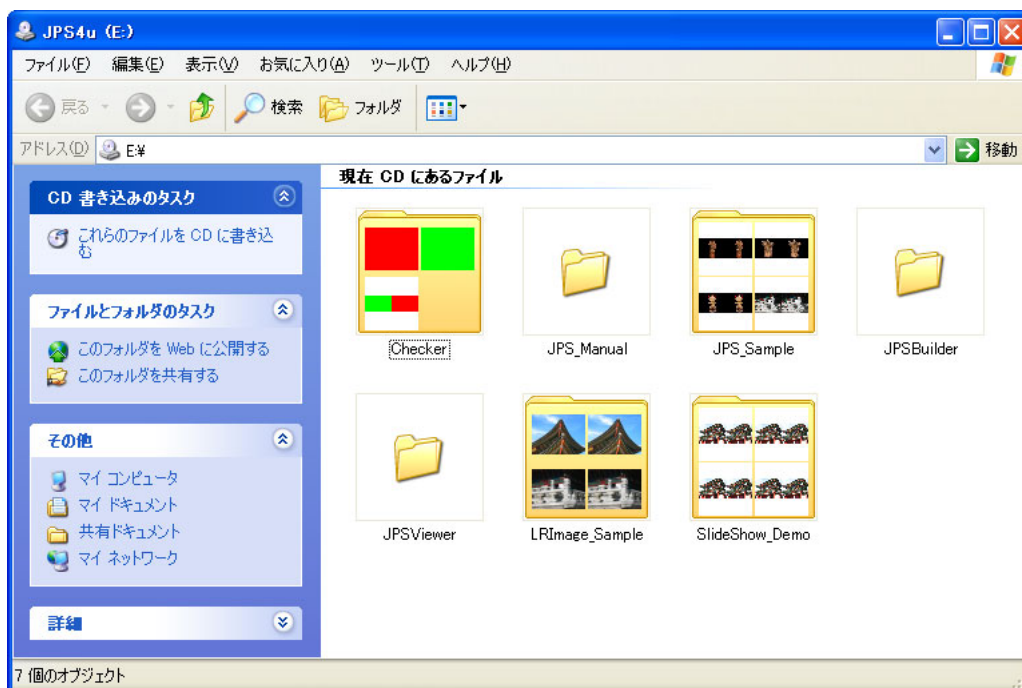
## はじめに

本マニュアルは、Windowsシステムの基本的な操作方法をご存じの方を想定して作成しております。ご存じでない方は、操作方法を習得した上でご利用ください。

### パッケージ内容の確認

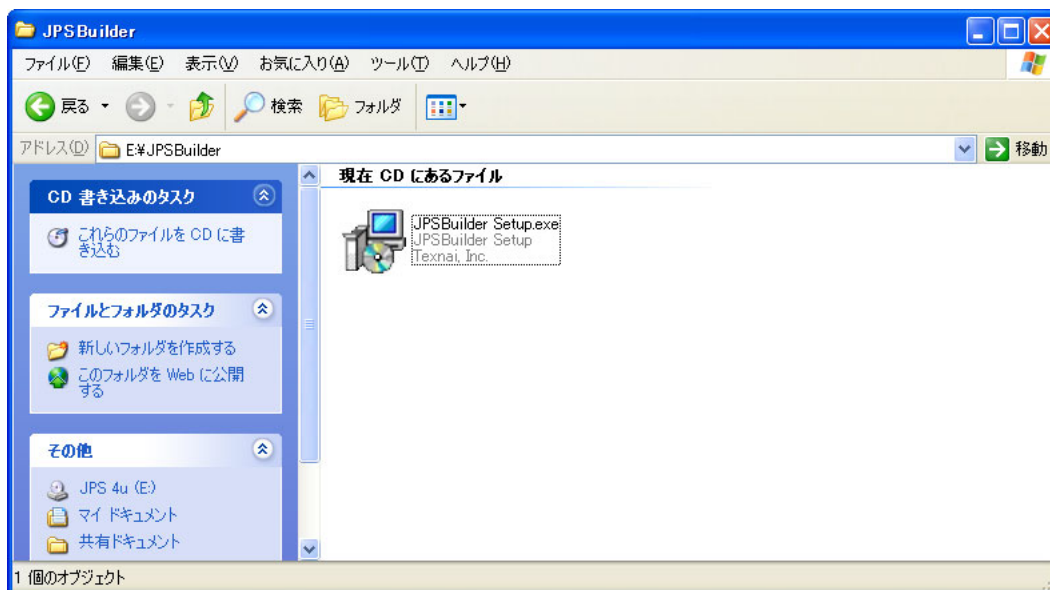
この度は、Texnai Stereo3D Tool Box "JPS Builder"をご利用いただき、誠にありがとうございます。お求めのパッケージには以下のものが含まれておりますので、まず内容をご確認ください。

- 1) アプリケーションCD-ROM ----- 1  
アプリケーションCD-ROMには以下の内容が含まれております。



#### ● "JPSBuilder"フォルダの内容

JPS Builderアプリケーションのセットアッププログラムが収録されております。



- "JPSBuilder Setup.exe"ファイル : JPS Builderのセットアッププログラムファイルです。

● "JPSViewer"フォルダの内容

JPS Viewerアプリケーションのセットアッププログラムが収録されております。

- ・ "JPSViewer Setup.exe"ファイル : JPS Viewerのセットアッププログラムファイルです。

[参考] : JPS Viewerアプリケーションの詳細に関しては、"JPSViewerManual.pdf"を参照してください。

● "JPS\_Manual"フォルダの内容

アプリケーションに関するオンラインマニュアルなどが収録されております。

- ・ "ReadMeFirst.pdf"ファイル : ユーザー登録等に関するPDFファイルです。
- ・ "JPSBuilderManual.pdf"ファイル : このマニュアルのPDFファイルです。
- ・ "JPSViewerManual.pdf"ファイル : JPS ViewerユーザーズマニュアルのPDFファイルです。

[注意] : オンラインマニュアルを読むには、Adobe Acrobat Readerが必要となりますのでご注意ください。

● "Checker"フォルダの内容

ステレオ表示ディスプレイ装置における調整確認用の画像ファイルが収録されております。

- ・ "GreenRed.jpg"ファイル : 調整確認用のJPS画像ファイルです。
- ・ "L\_green.jpg"ファイル : 調整確認用 (左画像) のJPEG画像ファイルです。
- ・ "R\_red.jpg"ファイル : 調整確認用 (右画像) のJPEG画像ファイルです。

[参考] : 調整確認等が必要なステレオ表示ディスプレイ装置をご使用の場合に、この画像ファイルをお使いください。

● "JPS\_Sample"フォルダの内容

JPSフォーマットのサンプル画像ファイルが収録されております。

dogu.jpg      doki01.jpg      doki02.jpg      keifuku01.jpg      keifuku02.jpg

● "LRImage\_Sample"フォルダの内容

左画像および右画像用のJPEGフォーマットのサンプル画像ファイルが収録されております。

doguL.jpg      doguR.jpg      doki01L.jpg      doki01R.jpg      doki02L.jpg      doki02R.jpg  
keifuku01L.jpg      keifuku01R.jpg      keifuku02L.jpg      keifuku02R.jpg

● "SlideShow\_Demo"フォルダの内容

JPSフォーマットのスライドショー用のサンプル画像ファイルが収録されております。

0001\_000\_001.jpg ~ 0001\_000\_164.jpg  
BGM.wav

## ユーザー登録のお願い

本ソフトウェアは、未登録ユーザーの方でもインストールされてから7日間だけ、試用期間として無料で使用することができます。

もし試用期間の経過後も、ご利用いただく場合にはメール < registration@texnai.co.jp > もしくはFAX等にて弊社宛てに、ユーザー名、所属名およびシリアル番号を連絡しユーザー登録を行い、使用ライセンスコード（登録番号）をご購入ください。弊社から、使用ライセンスコード（登録番号）を記載し、メール等にてご返送いたします。

**[注意]** : 本ソフトウェアの試用期間は、7日間となっております。試用期間が過ぎますと、本ソフトウェアはご利用できませんのでご注意ください。

## 製品に関するお問い合わせ先

株式会社テクネ

〒150-0042

東京都渋谷区宇田川町2-1 No.1008

URL: <http://www.texnai.co.jp/stereo/jpsbuilder>

E-Mail: [info@texnai.co.jp](mailto:info@texnai.co.jp)

TEL: 03-3464-6927 FAX: 03-3476-2372

## 第1章 : JPS Builderの概要

---

### 1-1 : JPS Builderとは

デジタルカメラとステレオ3D LCDの普及により、今日、誰でも簡単にステレオ写真を楽しめるようになりました。JPS Builderは、そうしたステレオ写真愛好家と2ビューのステレオ3D LCD（カラー液晶ディスプレイ）のために開発されたソフトウェアツールです。

JPS Builderは、両眼視差のある2枚の写真から視差や画像のずれを調整し、3D LCD等でそのステレオ効果を確認しながら国際標準のJPS画像を生成します。

### 1-2 : JPS Builderの主な機能

- 両眼視差のある左右2枚の画像ファイルをドラッグ&ドロップでJPS画像作成用のテンプレートにインポートできます。
- アナグリフ、垂直インターリーブ、シャープ Gシフト、水平インターリーブなどのステレオ表示モードをサポート。
- 作成するJPS画像のサイズを指定できます。
- JPS画像ファイルの他、ステレオ表示モードでの表示結果を1枚のBMPファイルとして保存できます。
- 左右の画像データを置き換えることができます。
- 選択された画像に対して拡大、縮小、移動もしくは回転が行え、ステレオ効果をリアルタイムに確認しながら視差調整ができます。
- ステレオ表示の時に左右の画像に対する操作を連動させることができます。
- フルスクリーン表示切り替え機能。
- 互いに重ならない不要な部分をトリミングできます。
- 垂直インターリーブ、シャープ Gシフト、水平インターリーブのステレオ表示モード時にノイズリダクション処理を施して表示させることが可能です。
- 左右の画像ファイルを読み込み時の状態に戻す、リセットポジション機能。



## 第2章 : JPS Builderの動作環境

---

### 2-1 : 推奨動作環境

JPS Builderの推奨動作環境は下記の通りです。

- 1) インテル社及びその互換CPU搭載のコンピュータ  
※ご使用になる機種はCPUのスピードが速い機種でを使用することをお奨めいたします。
- 2) Windows 2000, XPのオペレーティングシステム
- 3) 内蔵メモリ  
※256MByte以上を推奨。
- 4) グラフィックカード  
※nVIDIA GeForceシリーズのグラフィックチップ搭載のカードを推奨。
- 5) 表示解像度  
※フルカラー表示、1024 x 768以上推奨。

### 2-2 : 対応ステレオ表示装置

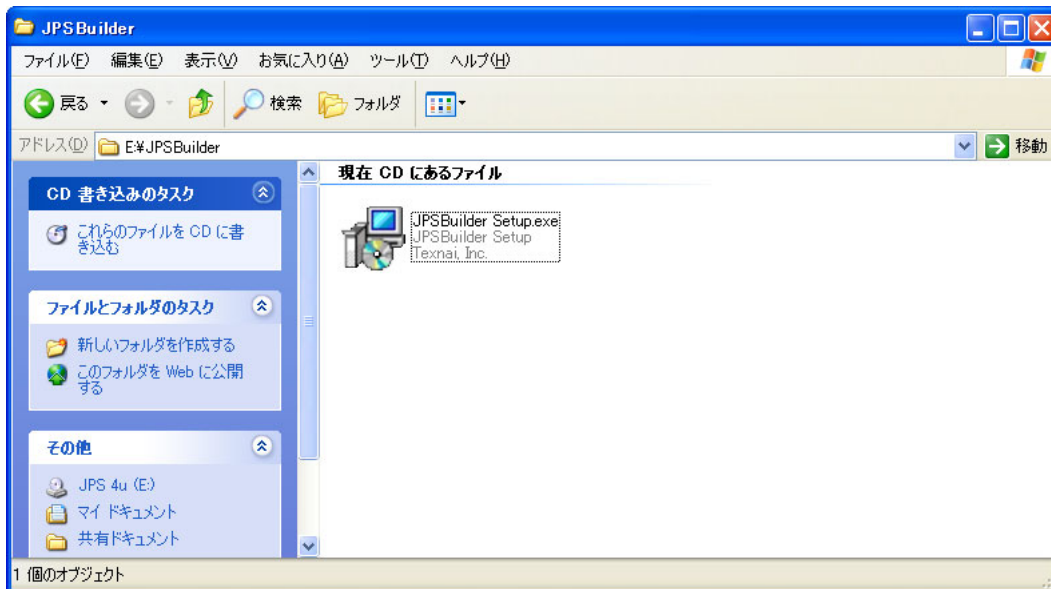
- 裸眼垂直インターリーブ G-Shift : シャープ製 3D LCD, 3DノートPC PC-RD3D Mebius
- 裸眼水平・垂直インターリーブ : DTI, 3D COM, Avonine
- $\mu$ Pol水平インターリーブ (偏光眼鏡対応) : Arisawa 15", 30"  $\mu$ Pol 3D LCD

## 第3章 : JPS Builderのインストール方法

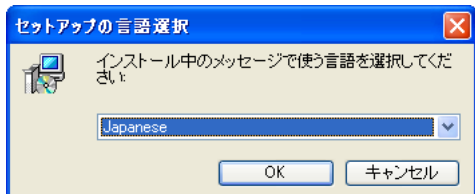
### 3-1 : JPS Builderのセットアップ

JPS Builderのセットアップに関して本マニュアルでは、Windows XPシステムを例にご説明いたします。

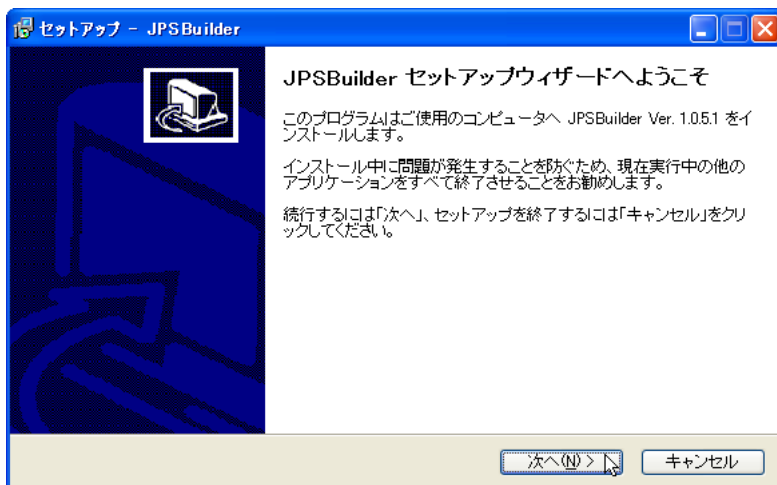
- 1) アプリケーションCDの中の"JPSBuilder"フォルダ内にある、下図のような"JPSBuilder Setup.exe"プログラムを実行します。



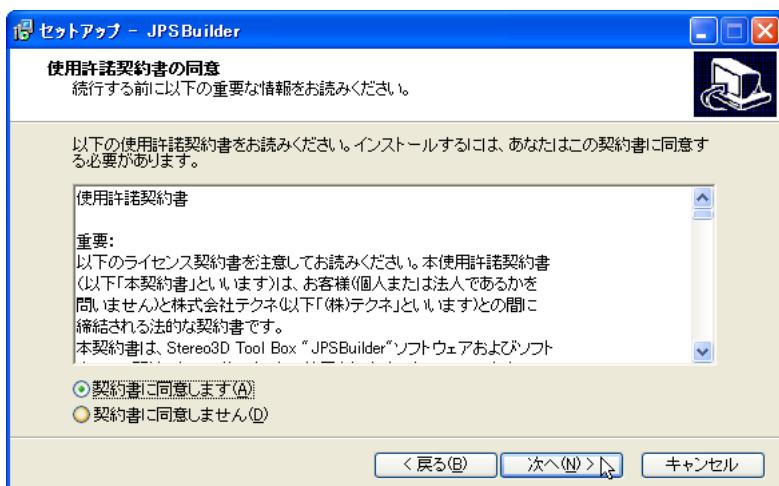
- 2) プログラムが起動するとご使用のシステムの言語設定を自動的に判断し、下図のような言語設定ダイアログが表示されますので内容を確認の上、"OK"ボタンを選択します。



- 3) 次に、下図のようなダイアログが表示されますので内容を確認の上、"次へ"ボタンを選択しセットアップを続行します。

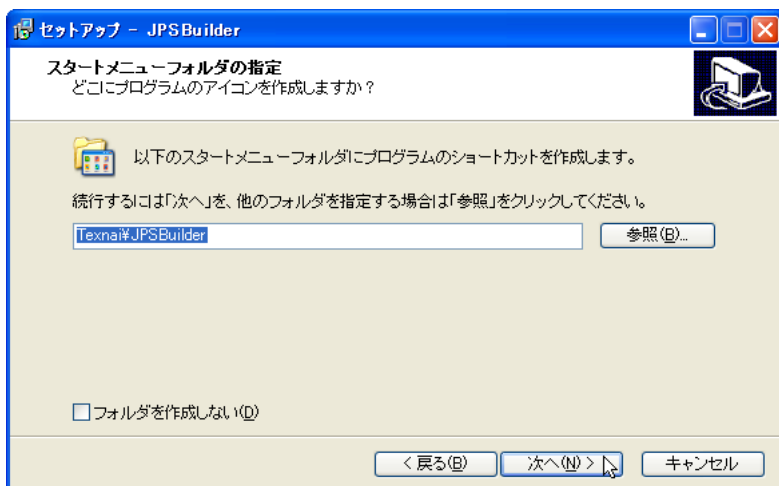


- 4) "次へ"ボタンを選択しセットアップを続けると、下図のような使用許諾に関するダイアログが表示されますので内容を確認してください。

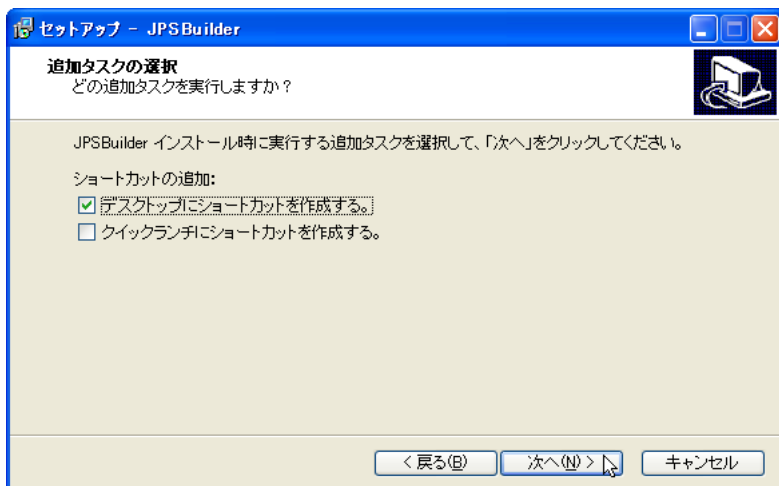


使用許諾内容に同意しますと"次へ"ボタンが選択できるようになります。

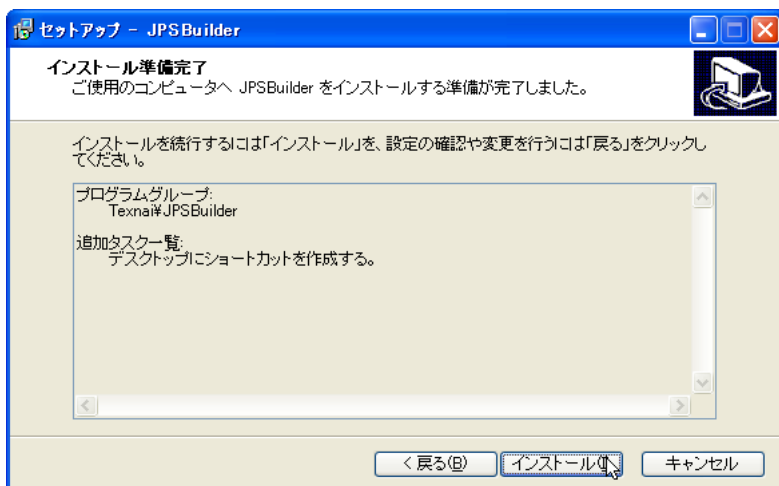
- 5) 使用許諾内容に同意しセットアップを続けると、下図のようなスタートメニューフォルダの指定ダイアログが表示されますので内容を確認の上、"次へ"ボタンを選択します。



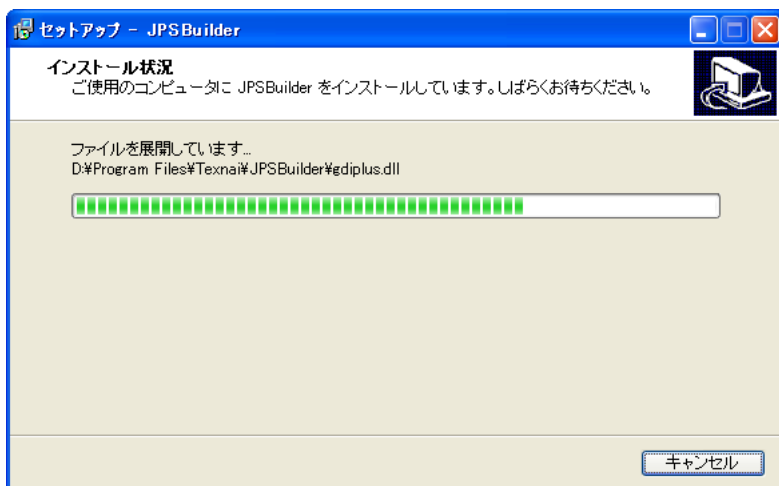
- 6) 次に、下図のような追加タスクの選択ダイアログが表示されますので内容を確認の上、"次へ"ボタンを選択します。



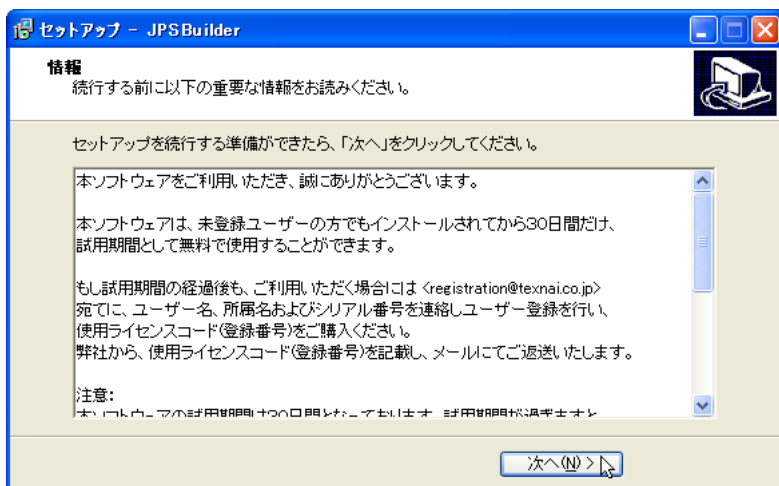
- 7) インストールの準備が完了しますと、下図のようなダイアログが表示されますので内容を確認の上、"インストール"ボタンを選択します。



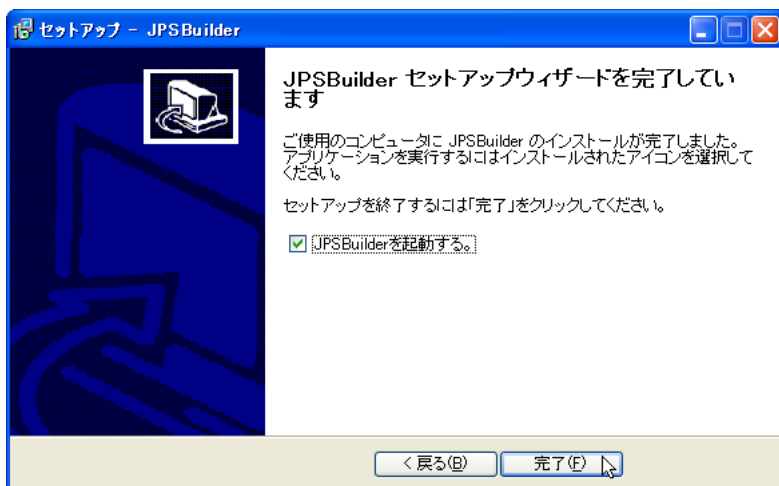
- 8) インストールが開始されると、下図のようなプログレスバーが表示されますので完了するまでしばらく待ちます。



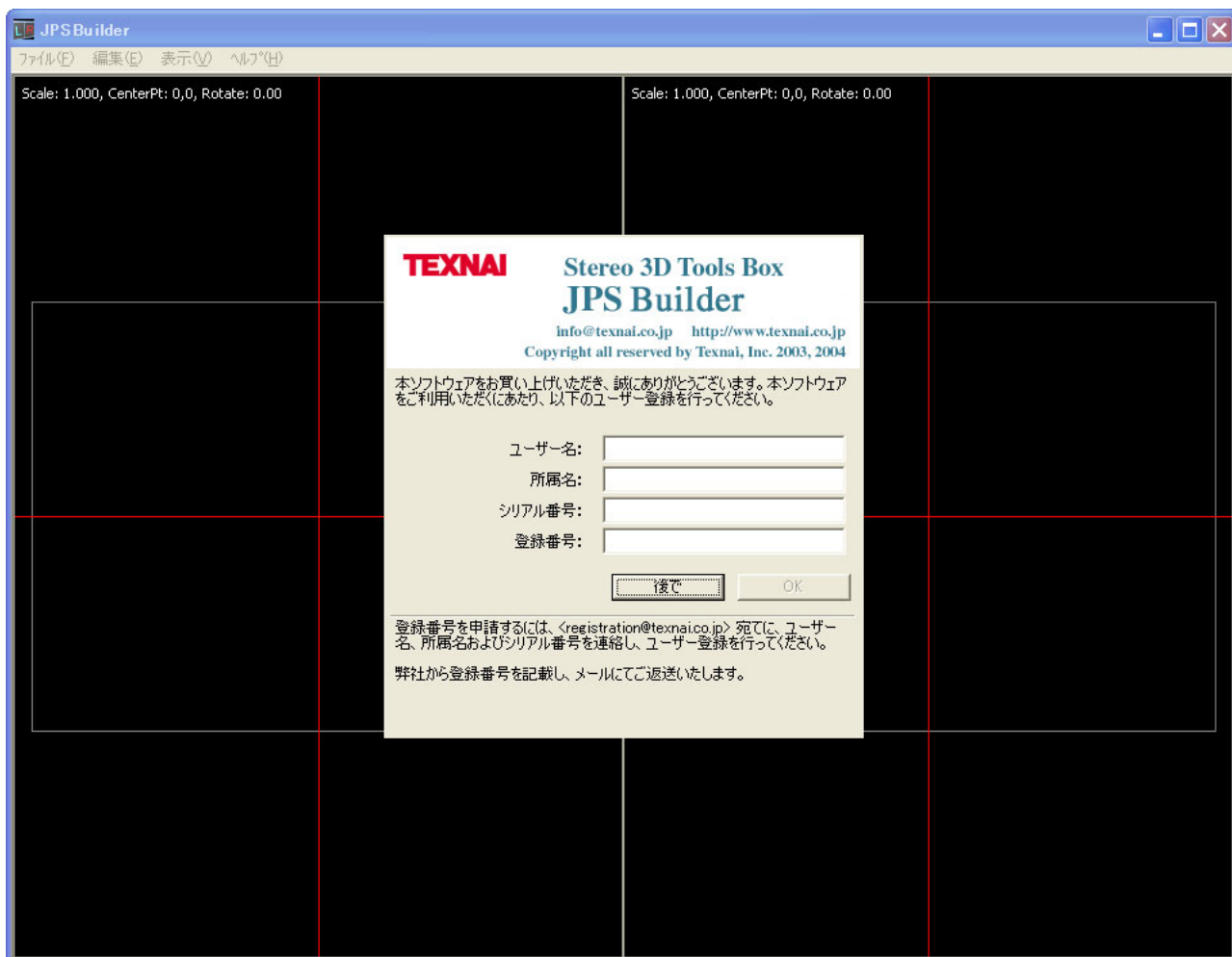
- 9) インストールが正常に終了しますと、下図のような情報ダイアログが表示されますので内容を確認の上、"次へ"ボタンを選択します。



- 10) "次へ"ボタンを選択しセットアップを続けると、下図のようなダイアログが表示されますので"完了"ボタンを選択しセットアッププログラムを終了します。



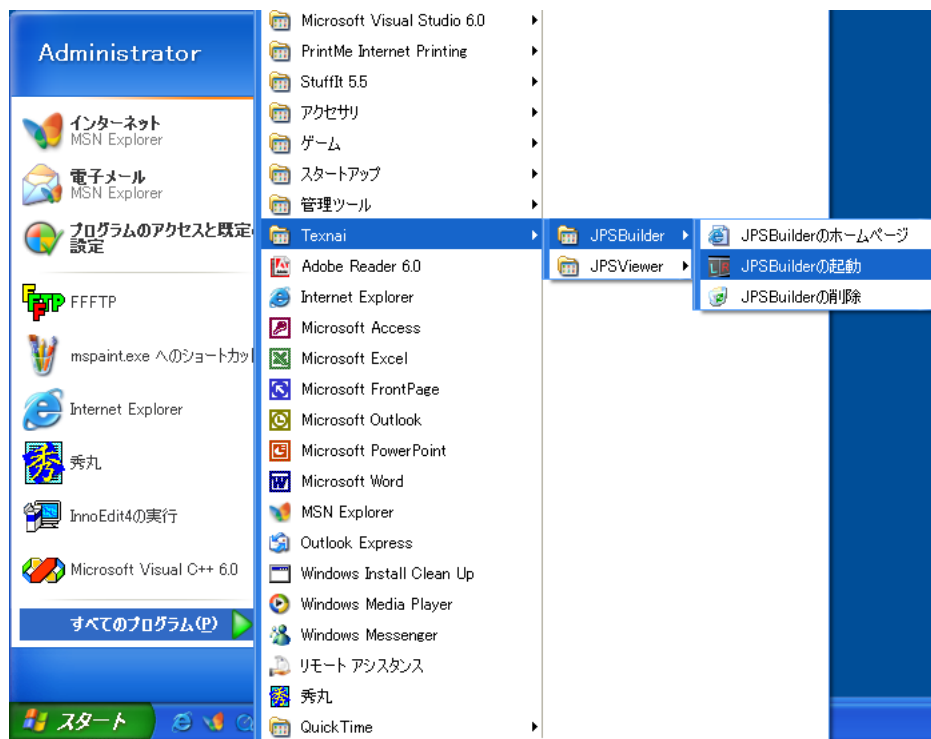
- 11) "JPSBuilderを起動する。"のチェックボックスをチェックした状態でセットアッププログラムを終了すると、下図のようにJPS Builderが起動します。



## 第4章：はじめてお使いの際に

### 4-1：JPS Builderの起動とパーソナライズ

下図のように"スタート"メニューの中の"JPSBuilderの起動"を選択するか、もしくはデスクトップ上のアイコンをダブルクリックしアプリケーションを起動してください。



※デスクトップ上に生成される、アプリケーションプログラムのショートカットアイコン。

※スタートメニューからJPS Builderを起動する場合。

プログラムが起動しますと、まずユーザー登録をしていただくための下図のようなダイアログボックスが表示されます。

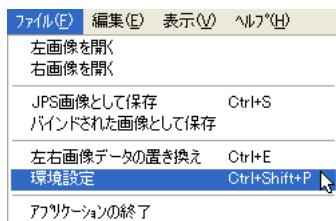


※使用ライセンスコード（登録番号）をご購入の方は、ユーザー名、所属名、シリアル番号および登録番号を正確に入力してください。正しく入力されませんと登録できませんのでご注意ください。

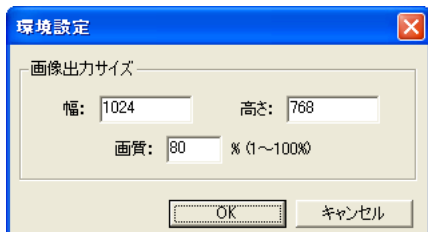
この情報が正しく受け付けられますと、正規ユーザーとしてプログラムに記録され継続してご使用いただけるようになります。

**[参考]**：本ソフトウェアは、未登録ユーザーの方でもインストールされてから7日間だけ、試用期間として無料で使用することができます。試用期間が過ぎますと、本ソフトウェアはご利用できませんのでご注意ください。また、継続してご利用いただく場合には使用ライセンスコード（登録番号）をご購入ください。

## 4-2：JPS Builderの環境設定



JPS Builderを使用してステレオ画像を作成する前に、"環境設定"で生成するステレオ画像のサイズを予め設定しておくことをお奨めします。"ファイル"メニューの中の"環境設定"を選択するか、もしくは"Shift+Ctrl+P"のショートカットキー操作で下図のようなダイアログボックスが表示されます。



ここで、保存時の画像データの出力サイズや画質等の設定が行えます。

- 幅：生成される画像データの幅（ピクセル単位）を設定します。
- 高さ：生成される画像データの高さ（ピクセル単位）を設定します。
- 画質：JPS画像として保存する際の画質（JPEG圧縮クオリティ、パーセント単位）を設定します。

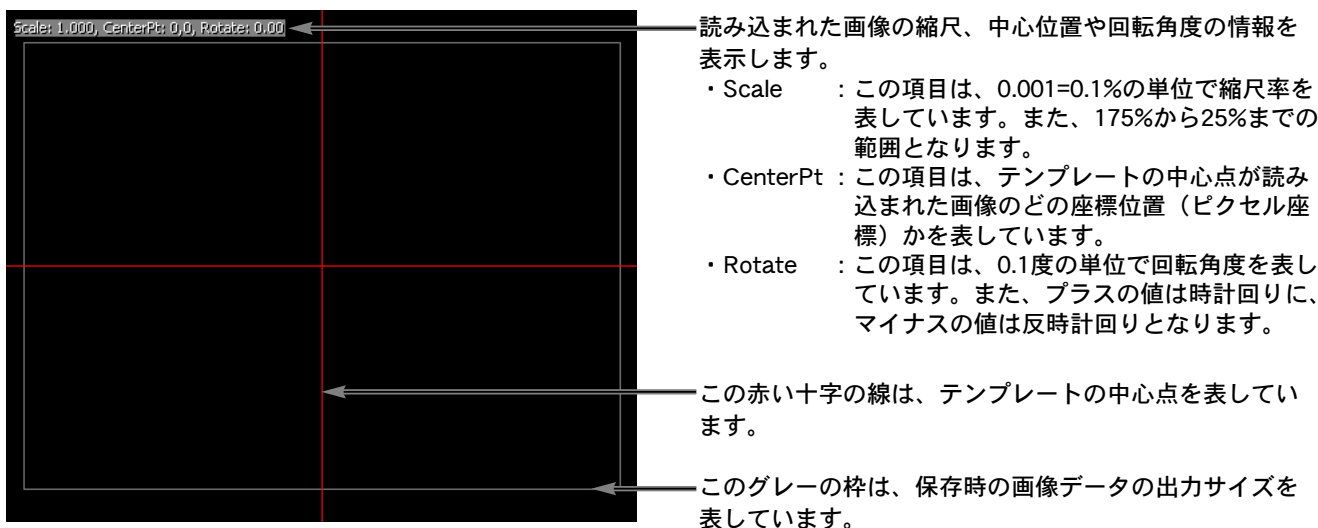
※画質とファイルサイズ（圧縮率）の関係

- 30%の設定：画質は粗いが、ファイルサイズはかなり小さくなる。
- 50%の設定：画質はやや粗いが、ファイルサイズは小さくなる。
- 80%の設定：画質は綺麗だが、ファイルサイズは大きくなる。
- 100%の設定：画質はかなり綺麗だが、ファイルサイズもかなり大きくなる。

[参考]：インターリーブの画像を生成する場合には、モニターの表示解像度に依存する部分があります。詳細は、付録の"A-1：モニターの表示解像度によるインターリーブ画像のサイズ制限"の項目を参照してください。

## 4-3：画像テンプレート

JPS Builderを起動しますと、左画像と右画像用のテンプレートに別れたセパレート表示でアプリケーションウィンドウが開きます。各々のテンプレートに画像を読み込むことによりステレオ画像を生成することが可能となります。また、図のように情報表示が反転した状態になっている場合は、そのテンプレートが選択されていることを意味します。

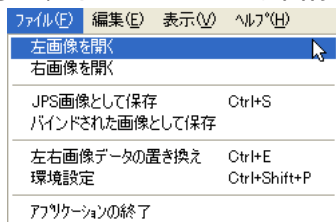




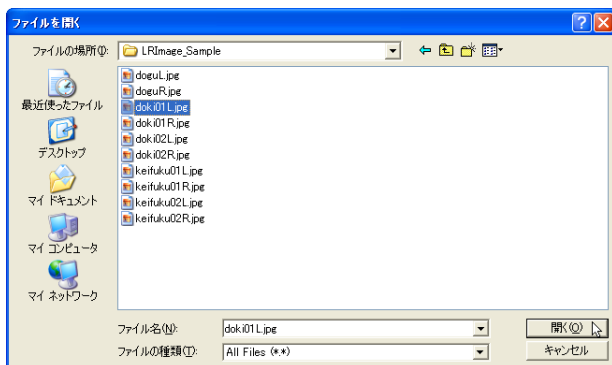
### 4-4：画像データの読み込み

画像データの読み込みには2通りの方法があります。"ファイル"メニューの中から左画像あるいは右画像を各々のテンプレートに読み込むやり方と、ドラッグ&ドロップ操作で各々のテンプレートに画像を読み込む方法があります。ここでは、CDに収録されているサンプル画像ファイルを用いてご説明します。

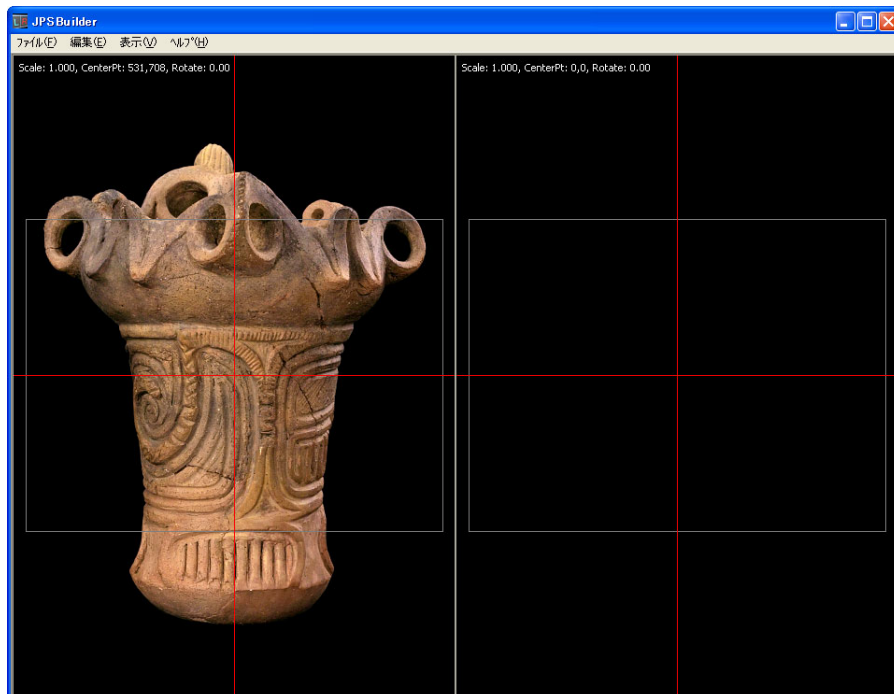
#### ●ファイルメニューから画像を読み込む



"ファイル"メニューの中の"左画像を開く"を選択しますと、次のようなファイルオープンダイアログが表示されます。



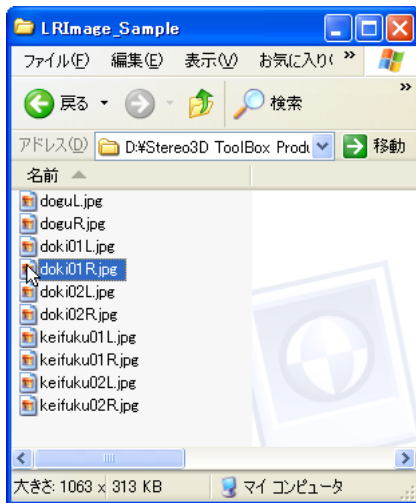
ここで、読み込みたい左画像のファイルを選択し"開く"ボタンをクリックすることにより、下図のように左側のテンプレートに画像が読み込まれます。また、同様に"右画像を開く"を選択することで右側のテンプレートに画像を読み込めます。



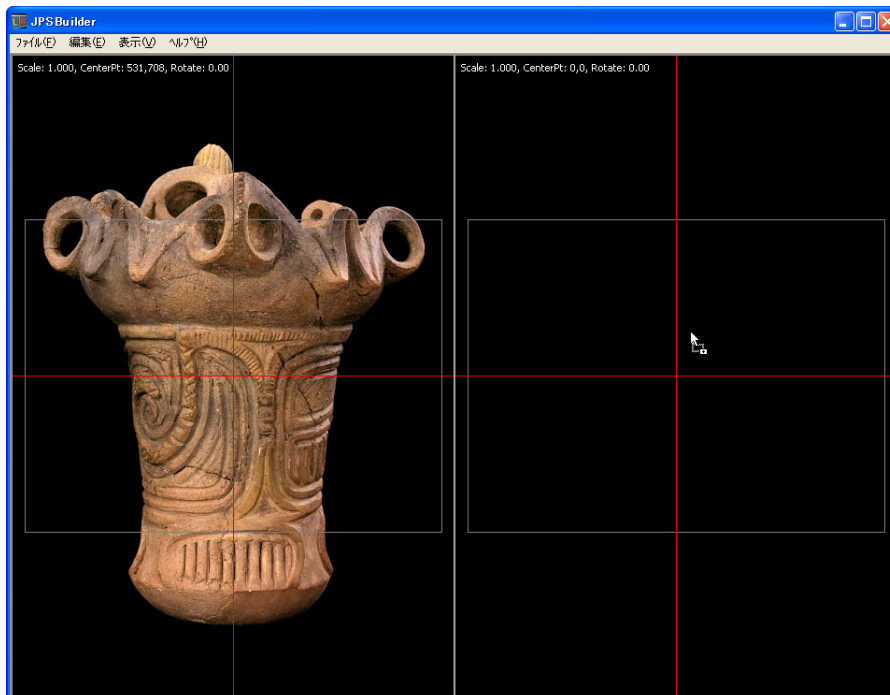


●ドラッグ&ドロップ操作で画像を読み込む

読み込みたい右画像のファイルを下図のように選択します。



次に、マウスの左ボタンを押しながら図のように右側のテンプレートにドラッグするとカーソルの形状がドロップのカーソルに切り替わります。



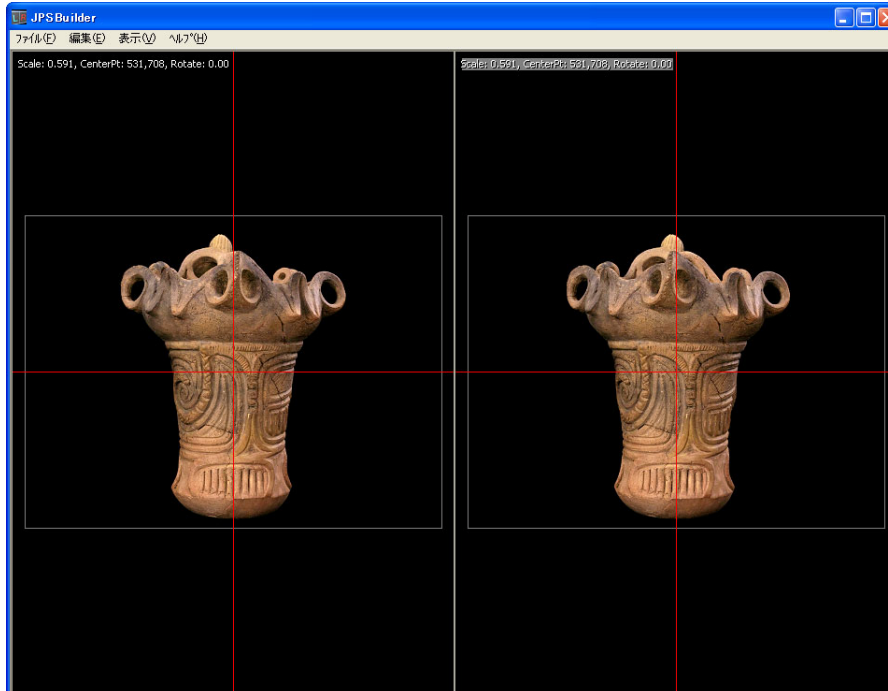
ここで、マウスボタンを離しますと右側のテンプレートに画像が読み込まれます。また、同様の手順で左側のテンプレートにも画像を読み込めます。

**[参考]**：ドラッグ&ドロップによる画像の読み込み操作は、セパレート表示の時にのみ有効となります。

#### 4-5：セパレート表示とステレオ表示の切り替え

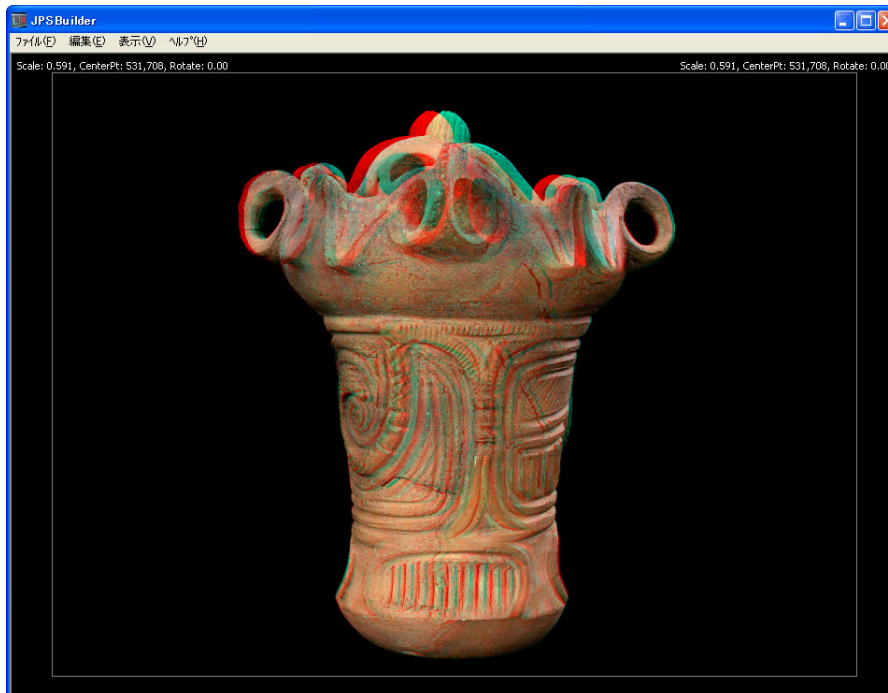
JPS Builderのウィンドウ表示には左画像と右画像用のテンプレートに分かれたセパレート表示と、ステレオ画像の確認用としてのステレオ表示モードがあります。マウスでのメニュー操作や、"S"キーのキーボードショートカットによりウィンドウの表示を交互に切り替えることが可能となります。

##### ●セパレート表示



JPS Builderを起動しますと、左画像と右画像用のテンプレートに別れたセパレート表示でアプリケーションウィンドウが開きます。

##### ●ステレオ表示



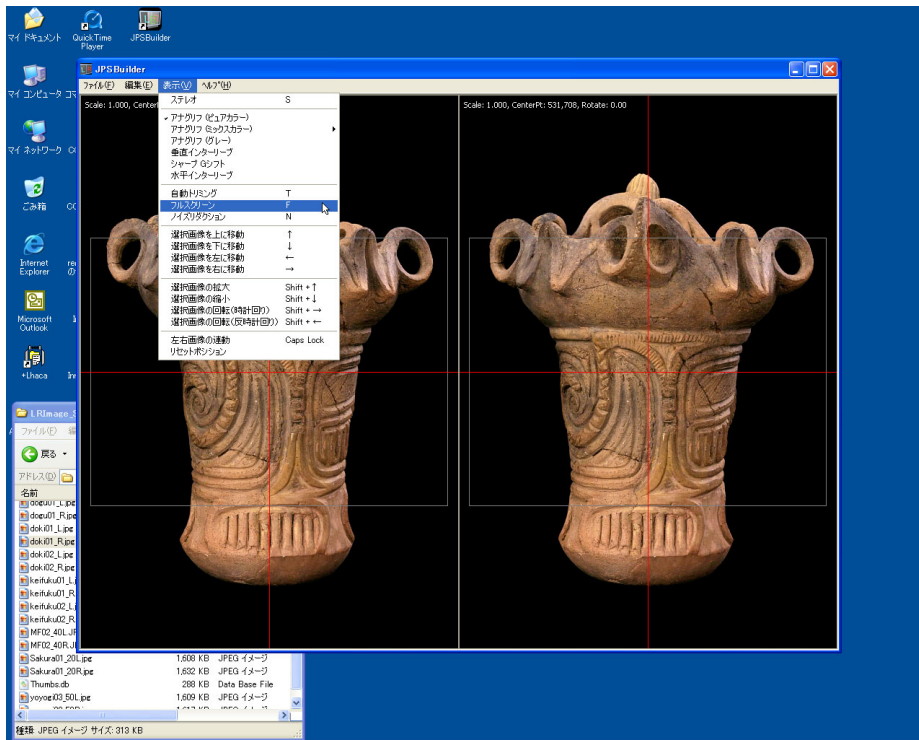
ステレオ画像として確認する場合には、この表示に切り替えます。

**[参考]**：“表示”メニューの中で、アナグリフやインターリーブ等の表示モードを切り替えることが可能です。

### 4-6：フルスクリーン表示とコンテキストメニューの表示

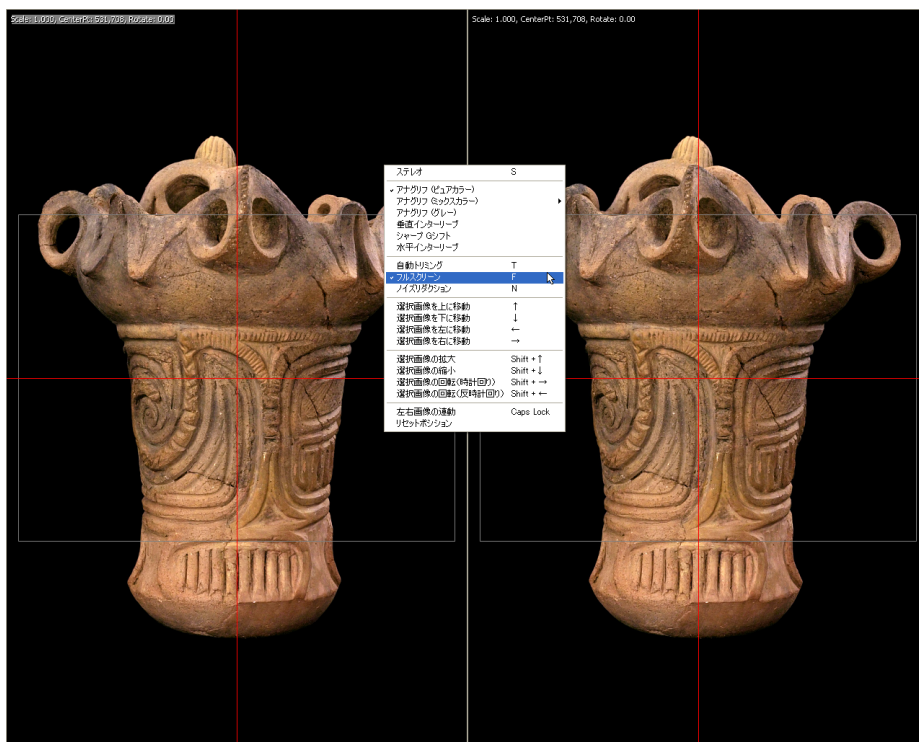
JPS Builderのウィンドウ表示には、画像の表示をご使用のモニター画面全体に表示させるフルスクリーン表示モードがあります。マウスでのメニュー操作や、"F"キーのキーボードショートカットによりウィンドウの表示を交互に切り替えることが可能となります。

#### ●通常の表示



通常はアプリケーションウィンドウでの表示となります。

#### ●フルスクリーン表示



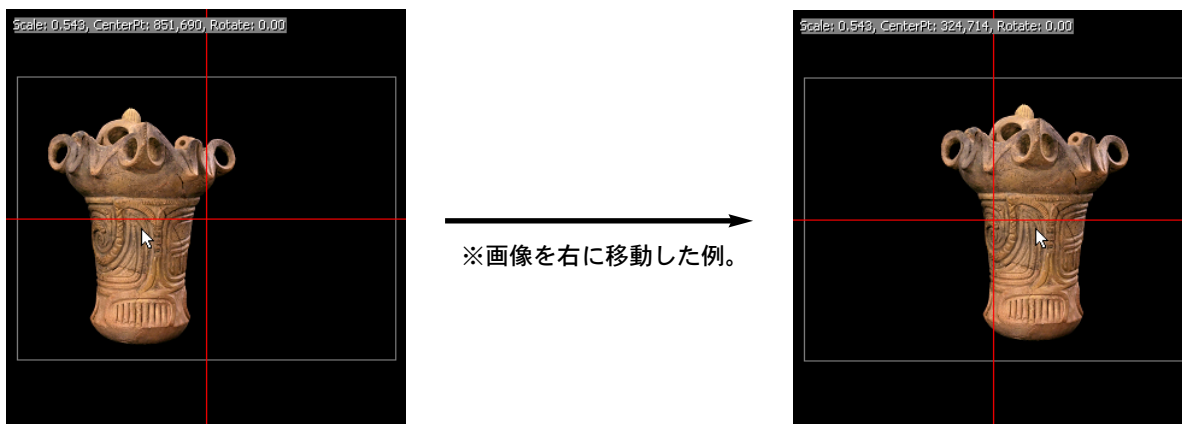
フルスクリーン表示では、ご使用のモニター画面全体での表示となります。また、画面内でマウスの右ボタンをクリックすることにより、"表示"メニューと同じ内容のコンテキストメニューが表示されます。

**[参考]**：フルスクリーン表示は、ステレオ表示モードでも機能します。

### 4-7：画像データの移動・拡大・縮小・回転

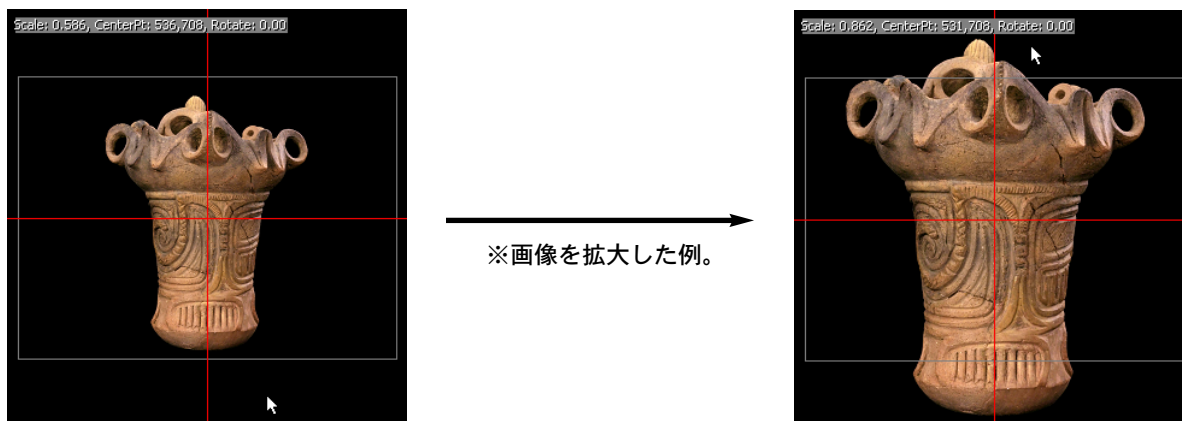
JPS Builderには画像データの移動、拡大、縮小および回転等の機能があります。マウスでのメニュー操作や、各々のキーボードショートカットにより最適なステレオ効果の得られる位置に調整することが可能となります。

#### ● 選択画像の移動

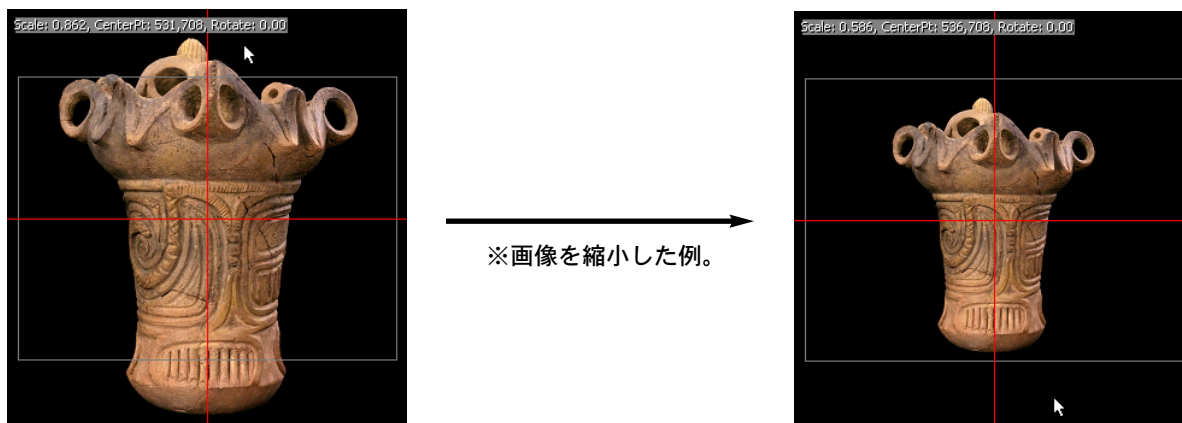


上図のように選択されたテンプレート内でマウスの左ボタンを押しながら、移動させる方向にマウスを動かしますと画像データは移動します。また、"↑"、"↓"、"←"、"→"のキーボードショートカット操作を行うことにより、各々の方向に対して1ピクセル単位での移動も可能です。

#### ● 選択画像の拡大・縮小



上図のように選択されたテンプレート内で"Shift"キーを押しながらマウスの左ボタンを押し、下から上にマウスを動かしますと画像データは拡大します。"Shift + ↑"キーでのキーボードショートカット操作を行うことにより、1ピクセル単位での拡大も可能です。

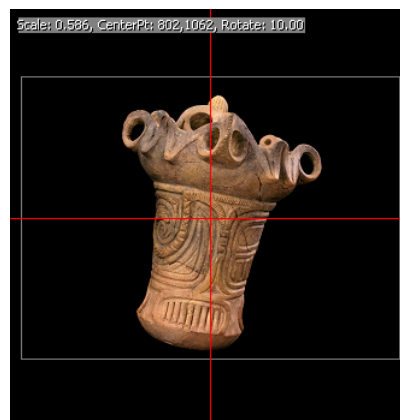


また、上図のように"Shift"キーを押しながらマウスの左ボタンを押し、上から下にマウスを動かしますと画像データは縮小します。"Shift + ↓"キーでのキーボードショートカット操作を行うことにより、1ピクセル単位での縮小も可能です。

● 選択画像の回転



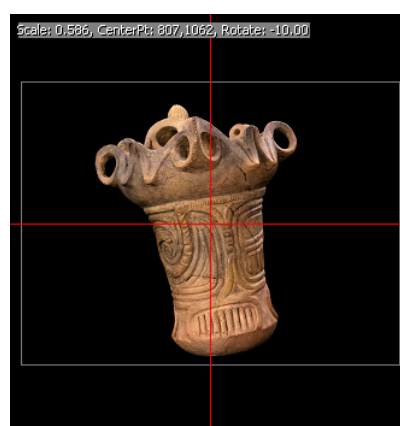
→  
※画像を時計回りに回転した例。



上図のように選択されたテンプレートで、"Shift +→"キーでのキーボードショートカット操作を行うことにより、0.1度単位での時計回りの回転が可能となります。



→  
※画像を反時計回りに回転した例。



また、上図のように"Shift +←"キーでのキーボードショートカット操作を行うことにより、0.1度単位での反時計回りの回転が可能となります。

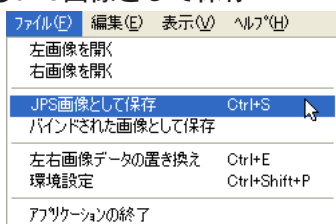
**[参考]**：画像データの移動・拡大・縮小・回転等の編集操作は、ステレオ表示モードでも機能します。但し、"左右画像の連動"が有効になっていない場合は、必ず右画像のテンプレートが選択された状態となります。



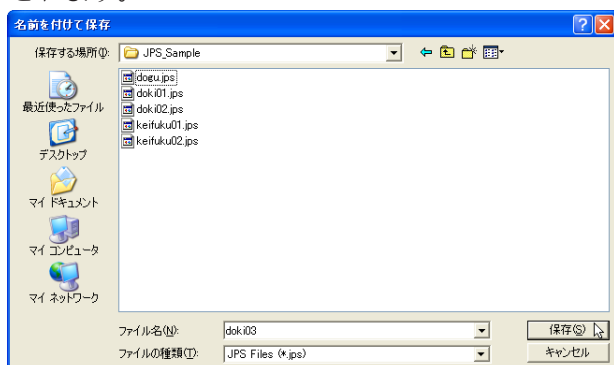
### 4-8：画像データの保存

JPS Builderでは画像データの保存に関して、2種類のファイルフォーマットで保存することが可能となっております。

#### ●JPS画像として保存



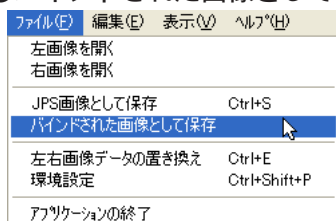
"ファイル"メニューの中の"JPS画像として保存"を選択しますと、次のようなファイル保存ダイアログが表示されます。



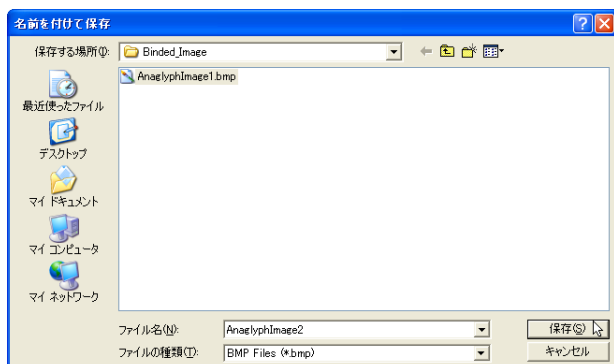
ここで、ファイル名を入力し"保存"ボタンをクリックすることにより、1枚のJPS画像ファイルとして保存されます。また、"Ctrl+S"キーでのキーボードショートカット操作も行えます。

**[注意]**：ファイル名の入力時に拡張子を付けない場合は保存時に自動的に付きますが、拡張子を付けて保存する場合は必ず".jps"と付けてください。

#### ●バインドされた画像として保存



"ファイル"メニューの中の"バインドされた画像として保存"を選択しますと、次のようなファイル保存ダイアログが表示されます。

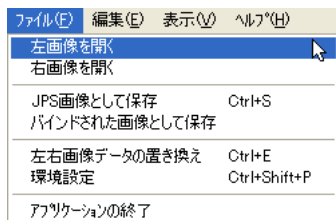


ここで、ファイル名を入力し"保存"ボタンをクリックすることにより、選択されている表示モード（アナグリフやインターリーブなど）でのステレオ表示の結果を、1枚のBMP画像ファイルとして保存します。

**[注意]**：ファイル名の入力時に拡張子を付けない場合は保存時に自動的に付きますが、拡張子を付けて保存する場合は必ず".bmp"と付けてください。

## 第5章 : JPS Builderの機能一覧

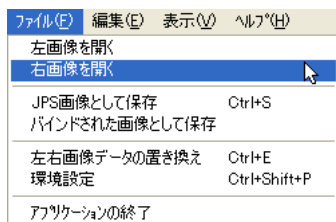
### 5-1 : 左画像を開く



"ファイル"メニューの中の"左画像を開く"を選択しますとファイルオープンダイアログが表示され、読み込みたい左画像のファイルを選択することにより、左側のテンプレートに画像を読み込むことが可能となります。

[参考] : 画像データの読み込みの詳細に関しては、第4章の"4-4 : 画像データの読み込み"の項目をご参照ください。

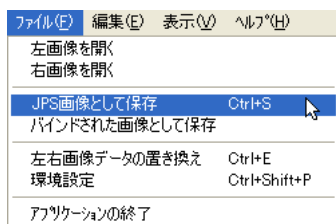
### 5-2 : 右画像を開く



"ファイル"メニューの中の"右画像を開く"を選択しますとファイルオープンダイアログが表示され、読み込みたい右画像のファイルを選択することにより、右側のテンプレートに画像を読み込むことが可能となります。

[参考] : 画像データの読み込みの詳細に関しては、第4章の"4-4 : 画像データの読み込み"の項目をご参照ください。

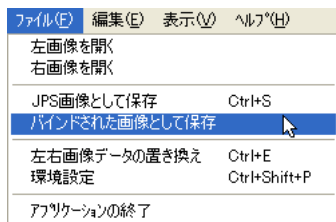
### 5-3 : JPS画像として保存



"ファイル"メニューの中の"JPS画像として保存"を選択しますとファイル保存ダイアログが表示され、ファイル名を入力することにより1枚のJPS画像ファイルとして保存することが可能となります。また、"Ctrl+S"キーでのキーボードショートカット操作でも行えます。

[参考] : 画像データの保存の詳細に関しては、第4章の"4-8 : 画像データの保存"の項目をご参照ください。

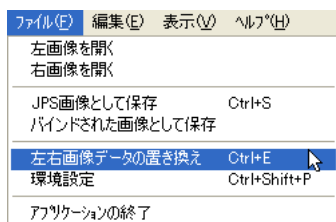
### 5-4 : バインドされた画像として保存



"ファイル"メニューの中の"バインドされた画像として保存"を選択しますとファイル保存ダイアログが表示され、ファイル名を入力することにより選択されている表示モード（アナグリフやインターリーブなど）でのステレオ表示の結果を、1枚のBMP画像ファイルとして保存することが可能となります。

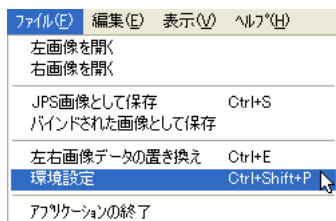
[参考] : 画像データの保存の詳細に関しては、第4章の"4-8 : 画像データの保存"の項目をご参照ください。

### 5-5 : 左右画像データの置き換え



"ファイル"メニューの中の"左右画像データの置き換え"を選択することにより、テンプレートに読み込まれている左画像と右画像を置き換えることが可能となります。また、"Ctrl+E"キーでのキーボードショートカット操作でも行えます。

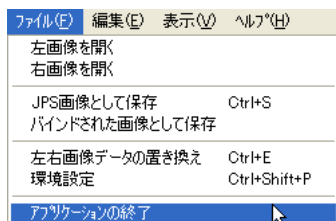
### 5-6 : 環境設定



"ファイル"メニューの中の"環境設定"を選択しますと環境設定ダイアログが表示され、保存時の画像データの出力サイズや画質等の設定を行うことが可能となります。また、"Shift+Ctrl+P"キーでのキーボードショートカット操作でも行えます。

[参考] : 環境設定の詳細に関しては、第4章の"4-2 : JPS Builderの環境設定"の項目をご参照ください。

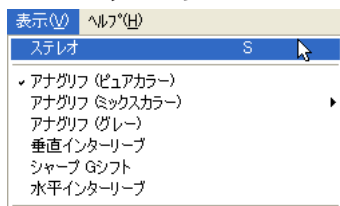
### 5-7 : アプリケーションの終了



"ファイル"メニューの中の"アプリケーションの終了"を選択することにより、JPS Builderを終了させることが可能となります。



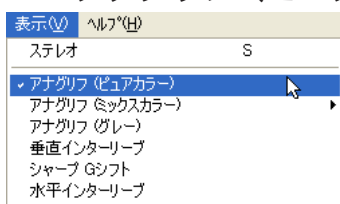
### 5-8 : ステレオ



"表示"メニューの中の"ステレオ"を選択することにより、左画像と右画像用のテンプレートに分かれたセパレート表示と、ステレオ画像の確認用としてのステレオ表示を交互に切り替えることが可能となります。また、"S"キーでのキーボードショートカット操作でも行えます。

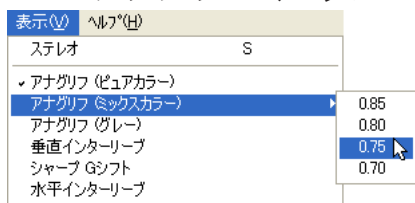
**[参考]** : ステレオ表示の切り替えに関しては、第4章の"4-5 : セパレート表示とステレオ表示の切り替え"の項目をご参照ください。

### 5-9 : アナグリフ (ピュアカラー)



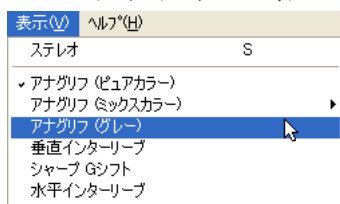
"表示"メニューの中の"アナグリフ (ピュアカラー)"を選択することにより、ステレオ表示のモードを一般的なカラーアナグリフのモードにすることが可能となります。

### 5-10 : アナグリフ (ミックスカラー)



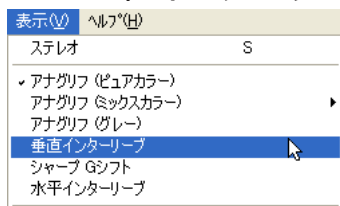
"表示"メニューの中の"アナグリフ (ミックスカラー)"を選択することにより、ステレオ表示のモードをミックスカラー処理を施したカラーアナグリフのモードにすることが可能となります。

### 5-11 : アナグリフ (グレー)



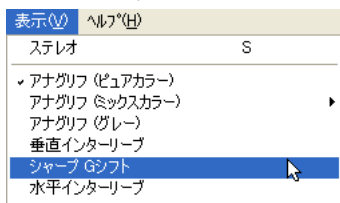
"表示"メニューの中の"アナグリフ (グレー)"を選択することにより、ステレオ表示のモードを一般的なグレーアナグリフのモードにすることが可能となります。

### 5-12 : 垂直インターリーブ



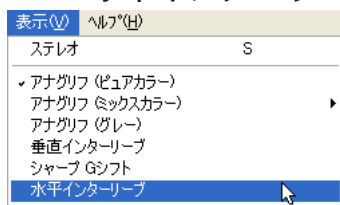
"表示"メニューの中の"垂直インターリーブ"を選択することにより、ステレオ表示のモードを垂直方向でのインターリーブのモードにすることが可能となります。

### 5-13 : シャープ Gシフト



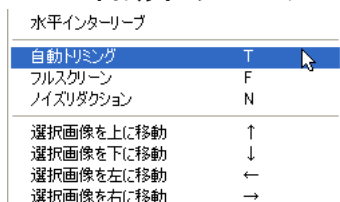
"表示"メニューの中の"シャープ Gシフト"を選択することにより、ステレオ表示のモードをシャープ製3Dカラー液晶のモードにすることが可能となります。

### 5-14 : 水平インターリーブ



"表示"メニューの中の"水平インターリーブ"を選択することにより、ステレオ表示のモードを水平方向でのインターリーブのモードにすることが可能となります。

### 5-15 : 自動トリミング



"表示"メニューの中の"自動トリミング"を選択することにより、ステレオ表示の時に左画像と右画像の重なっている部分のみを表示させることが可能となります。また、"T"キーでのキーボードショートカット操作でも行えます。



[自動トリミング機能がOFFの場合]



[自動トリミング機能がONの場合]

### 5-16 : フルスクリーン

水平インターリーブ	
自動トリミング	T
フルスクリーン	F
ノイズリダクション	N
選択画像を上に移動	↑
選択画像を下に移動	↓
選択画像を左に移動	←
選択画像を右に移動	→

"表示"メニューの中の"フルスクリーン"を選択することにより、アプリケーションウィンドウのフルスクリーン表示/非表示を交互に切り替えることが可能となります。また、"F"キーでのキーボードショートカット操作でも行えます。

[参考] : フルスクリーン表示の切り替えに関しては、第4章の"4-6 : フルスクリーン表示とコンテキストメニューの表示"の項目をご参照ください。

### 5-17 : ノイズリダクション

水平インターリーブ	
自動トリミング	T
フルスクリーン	F
ノイズリダクション	N
選択画像を上に移動	↑
選択画像を下に移動	↓
選択画像を左に移動	←
選択画像を右に移動	→

"表示"メニューの中の"ノイズリダクション"を選択することにより、ステレオ表示の時にノイズリダクション処理を施して表示させることが可能となります。また、"N"キーでのキーボードショートカット操作でも行えます。

[参考] : ノイズリダクション処理は、ステレオ表示のモードがインターリーブ（水平、垂直およびシャープ Gシフト）の場合に有効な処理となります。この処理を施すことにより、ステレオ画像のディテールが鮮明に表示されます。

### 5-18 : 選択画像を上に移動

自動トリミング	T
フルスクリーン	F
ノイズリダクション	N
選択画像を上に移動	↑
選択画像を下に移動	↓
選択画像を左に移動	←
選択画像を右に移動	→
選択画像の拡大	Shift + ↑

"表示"メニューの中の"選択画像を上に移動"を選択することにより、選択されている画像に対して1ピクセル単位で上に移動させることが可能となります。また、"↑"キーでのキーボードショートカット操作でも行えます。

[参考] : 画像データの移動に関しては、第4章の"4-7 : 画像データの移動・拡大・縮小・回転"の項目をご参照ください。

### 5-19 : 選択画像を下に移動

自動トリミング	T
フルスクリーン	F
ノイズリダクション	N
選択画像を上に移動	↑
選択画像を下に移動	↓
選択画像を左に移動	←
選択画像を右に移動	→
選択画像の拡大	Shift + ↑

"表示"メニューの中の"選択画像を下に移動"を選択することにより、選択されている画像に対して1ピクセル単位で下に移動させることが可能となります。また、"↓"キーでのキーボードショートカット操作でも行えます。

[参考] : 画像データの移動に関しては、第4章の"4-7 : 画像データの移動・拡大・縮小・回転"の項目をご参照ください。

### 5-20：選択画像を左に移動

自動トリミング	T
フルスクリーン	F
ノイズリダクション	N
選択画像を上に移動	↑
選択画像を下に移動	↓
選択画像を左に移動	←
選択画像を右に移動	→
選択画像の拡大	Shift + ↑

"表示"メニューの中の"選択画像を左に移動"を選択することにより、選択されている画像に対して1ピクセル単位で左に移動させることが可能となります。また、"←"キーでのキーボードショートカット操作でも行えます。

**[参考]**：画像データの移動に関しては、第4章の"4-7：画像データの移動・拡大・縮小・回転"の項目をご参照ください。

### 5-21：選択画像を右に移動

自動トリミング	T
フルスクリーン	F
ノイズリダクション	N
選択画像を上に移動	↑
選択画像を下に移動	↓
選択画像を左に移動	←
選択画像を右に移動	→
選択画像の拡大	Shift + ↑

"表示"メニューの中の"選択画像を右に移動"を選択することにより、選択されている画像に対して1ピクセル単位で右に移動させることが可能となります。また、"→"キーでのキーボードショートカット操作でも行えます。

**[参考]**：画像データの移動に関しては、第4章の"4-7：画像データの移動・拡大・縮小・回転"の項目をご参照ください。

### 5-22：選択画像の拡大

選択画像を上に移動	↑
選択画像を下に移動	↓
選択画像を左に移動	←
選択画像を右に移動	→
選択画像の拡大	Shift + ↑
選択画像の縮小	Shift + ↓
選択画像の回転(時計回り)	Shift + →
選択画像の回転(反時計回り)	Shift + ←

"表示"メニューの中の"選択画像の拡大"を選択することにより、選択されている画像に対して1ピクセル単位で拡大させることが可能となります。また、"Shift + ↑"キーでのキーボードショートカット操作でも行えます。

**[参考]**：画像データの拡大に関しては、第4章の"4-7：画像データの移動・拡大・縮小・回転"の項目をご参照ください。

### 5-23：選択画像の縮小

選択画像を上に移動	↑
選択画像を下に移動	↓
選択画像を左に移動	←
選択画像を右に移動	→
選択画像の拡大	Shift + ↑
選択画像の縮小	Shift + ↓
選択画像の回転(時計回り)	Shift + →
選択画像の回転(反時計回り)	Shift + ←

"表示"メニューの中の"選択画像の縮小"を選択することにより、選択されている画像に対して1ピクセル単位で縮小させることが可能となります。また、"Shift + ↓"キーでのキーボードショートカット操作でも行えます。

**[参考]**：画像データの縮小に関しては、第4章の"4-7：画像データの移動・拡大・縮小・回転"の項目をご参照ください。

### 5-24 : 選択画像の回転 (時計回り)

選択画像を左に移動	←
選択画像を右に移動	→
選択画像の拡大	Shift + ↑
選択画像の縮小	Shift + ↓
選択画像の回転(時計回り)	Shift + →
選択画像の回転(反時計回り)	Shift + ←
左右画像の連動 リセットポジション	Caps Lock

"表示"メニューの中の"選択画像の回転 (時計回り)"を選択することにより、選択されている画像に対して0.1度単位で時計回りに回転させることが可能となります。また、"Shift + →"キーでのキーボードショートカット操作でも行えます。

**[参考]** : 画像データの回転に関しては、第4章の"4-7 : 画像データの移動・拡大・縮小・回転"の項目をご参照ください。

### 5-25 : 選択画像の回転 (反時計回り)

選択画像を左に移動	←
選択画像を右に移動	→
選択画像の拡大	Shift + ↑
選択画像の縮小	Shift + ↓
選択画像の回転(時計回り)	Shift + →
選択画像の回転(反時計回り)	Shift + ←
左右画像の連動 リセットポジション	Caps Lock

"表示"メニューの中の"選択画像の回転 (反時計回り)"を選択することにより、選択されている画像に対して0.1度単位で反時計回りに回転させることが可能となります。また、"Shift + ←"キーでのキーボードショートカット操作でも行えます。

**[参考]** : 画像データの回転に関しては、第4章の"4-7 : 画像データの移動・拡大・縮小・回転"の項目をご参照ください。

### 5-26 : 左右画像の連動

選択画像を左に移動	←
選択画像を右に移動	→
選択画像の拡大	Shift + ↑
選択画像の縮小	Shift + ↓
選択画像の回転(時計回り)	Shift + →
選択画像の回転(反時計回り)	Shift + ←
左右画像の連動 リセットポジション	Caps Lock

"表示"メニューの中の"左右画像の連動"を選択することにより、左右の画像に対する編集操作を連動させることが可能となります。また、"Caps Lock"キーでのキーボードショートカット操作でも行えます。

**[注意]** : 左右画像の連動に関しては、ステレオ表示の場合に対してのみ有効となります。セパレート表示の場合では左右の画像は連動しませんのでご注意ください。

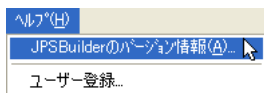
**[参考]** : Caps LockキーのON/OFF操作に関して、お使いのキーボードの仕様によってはShiftキーを押しながらでないと操作できない場合があります。

### 5-27 : リセットポジション

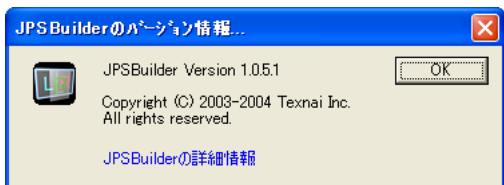
選択画像を左に移動	←
選択画像を右に移動	→
選択画像の拡大	Shift + ↑
選択画像の縮小	Shift + ↓
選択画像の回転(時計回り)	Shift + →
選択画像の回転(反時計回り)	Shift + ←
左右画像の連動 リセットポジション	Caps Lock

"表示"メニューの中の"リセットポジション"を選択することにより、選択されている画像を読み込み時の状態に戻すことが可能となります。

### 5-28 : JPS Builderのバージョン情報

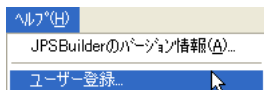


"ヘルプ"メニューの中の"JPSBuilderのバージョン情報(A)..."を選択することにより、下図のようなアバウトダイアログが表示され現在お使いのJPS Builderのバージョンを確認することが可能となります。



[参考] : アバウトダイアログ内の"JPSBuilderの詳細情報"をクリックしますと、JPS Builderのホームページにアクセスします。

### 5-29 : ユーザー登録



"ヘルプ"メニューの中の"ユーザー登録..."を選択することにより、下図のようなダイアログが表示されユーザー登録を行うことが可能となります。



[参考] : ユーザー登録に関しては、第4章の"4-1 : JPS Builderの起動とパーソナライズ"の項目をご参照ください。

## 付録

### A-1 : モニターの表示解像度によるインターリーブ画像のサイズ制限

JPS Builderでは、インターリーブ（水平、垂直およびシャープ Gシフト）の画像処理を行う際に、2000×2000ピクセルのオフスクリーンを使用します。この為、ステレオ表示の画面表示サイズが2000×2000を超えた場合、インターリーブの画像処理が行えないため表示ができませんのでご注意ください。

*[参考] : アナグリフのモードでは、上記の制約はありません。*

### A-2 : JPS Builderのショートカットキー一覧

- Ctrl + S ----- JPS画像ファイル保存機能
- Ctrl + E ----- 左右画像データの置き換え機能
- Ctrl + Shift + P ----- 環境設定機能
- S ----- ステレオ表示機能
- T ----- 自動トリミング機能
- F ----- フルスクリーン機能
- N ----- ノイズリダクション機能
- ↑ ----- 画像の移動機能（1ピクセル上に移動）
- ↓ ----- 画像の移動機能（1ピクセル下に移動）
- ← ----- 画像の移動機能（1ピクセル左に移動）
- → ----- 画像の移動機能（1ピクセル右に移動）
- Shift + ↑ ----- 画像の拡大機能（1ピクセル拡大）
- Shift + ↓ ----- 画像の縮小機能（1ピクセル縮小）
- Shift + → ----- 画像の回転機能（0.1度時計回りに回転）
- Shift + ← ----- 画像の回転機能（0.1度反時計回りに回転）
- Caps Lock ----- 左右画像の操作連動機能

*[参考] : Caps LockキーのON/OFF操作に関して、お使いのキーボードの仕様によってはShiftキーを押しながらでないと操作できない場合があります。*

**【本マニュアルに関するお問い合わせ先】**

株式会社テクネ

〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町2-1, No.1008

Texnai Stereo 3D Tool Box

JPS Builder ユーザーズマニュアル

---

2004年4月20日 第一版発行

発行・制作 株式会社テクネ

〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町2-1, No.1008